



楽天生命パークが、国見色に染まった日



長蛇の列となった大抽選会

5月8日、宮城県仙台市で、国見町が協賛した東北楽天ゴールデンイーグルス対福岡ソフトバンクホークス戦が行われました。この事業は、この日一日、球場全体を「歴史とくだもの里 国見町デー」として、町の食や観光で、国見の魅力やおいしさ、楽しさを発信するために行ったものです。

会場で国見町のパンフレットを配り、道の駅の商品券や特産品などが当たる大抽選会、国見バーガーや6次化商品の販売をしました。また、球場のいたるところに国見町のぼり旗を掲げ、球場の内外の大型ビジョンに町のPRロゴを映

さらには、試合前には太田久雄町長が、楽天イーグルスの石原彪選手と福岡ソフトバンクの上林誠知選手に国見町特産の桃の目録を贈呈するとともに始球式に臨み、好投球で観客をうならせるおまけ付き。

スタンドでは、公募した約200人の国見町応援団が楽天イーグルスに声援を送り、国見町デーを盛り上げました。そのかいあって、序盤は劣勢だった楽天イーグルスは徐々に追い上げ、最後は劇的なサヨナラ勝ちを収めました。



町民や仙台圏のみなさんが国見町デーを盛り上げるために駆け付けました



ちどうけんとかさきおきなひ 知道軒戸賀崎翁碑 (大字大木戸長坂地内)

旧奥州道中国見峠長坂跡に、天保4年(1833)に建てられた石碑があります。これは、伊達郡森山村(現国見町大字森山)の佐久間純重が仲間らと、神道無念流剣術の達人である知道軒戸賀崎翁(本名戸賀崎熊太郎暉芳)を顕彰し建立したものです。

知道軒は現在の埼玉県久喜市出身で、江戸に開いた道場は3,000人の門弟を持つ剣客でした。純重も神道無念流剣術を修練し、指導・伝授を行っていました。

碑文には、知道軒の卓絶した刀法と温和な人となり、多くの子弟の模範となっていた旨が記されています。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

～今月の表紙～



国見小学校で運動会が開催されました。「KUNIMIのドン!」では子どもたちが、鳴った太鼓の数だけ紅白の玉を拾いゴールを目指して一生懸命走る姿に会場からは大きな声援が送られました。

24	22	18	16	14	13	12	10	9	8	6	4	3	2
カレンダー	生涯学習つうしん	健康だより	まちのわだい	歴史さんぼ	介護保険料の特別徴収を平準化します	笑顔のひろば	地域おこし協力隊着任・小さな天才たち	お菓子の小さな博覧会	短期体験研修スタート・オール国見でまちづくり	道の駅国見あつかしの郷 開業2周年記念イベント開催	楽天生命パークが、国見色に染まった日	目次	目次